

# 巨福寺だより

第9号 平成27年 正月

発行者：日蓮宗 素南山 巨福寺

## 瑞 祥 新 春 最上稲荷山 妙教寺 特集

最上稲荷は、雄大な造山古墳に代表される古墳群や、桃太郎伝説、戦国時代には羽柴(豊臣)秀吉の備中高松城水攻めの舞台など、数々の伝説と歴史を刻んだ吉備の国・吉備平野(現在の岡山市北区)にあり、京都の伏見稲荷(神道)、愛知の豊川稲荷(曹洞宗)と共に、日本三大稲荷と並び称される。その歴史と伝承は、今から1200年以上前の天平勝宝4年(752)、報恩大師・摩訶聖人が孝謙天皇の病氣平癒の勅命をうけて、吉備平野の龍王山中腹にある八畳岩において日夜祈願を行ったところ、白狐に乗った最上稲荷神が降臨し、大師はその尊影を刻み祈願し続けたところ、天皇の病氣は快癒された。またその後、桓武天皇の病氣も大師の祈願によって快癒されたことから、天皇の命によりこの地に「龍王山神宮寺」が建立された。

神宮寺は隆盛を極めたものの、戦乱の時代に入り備中高松城水攻めの際、戦火により堂宇を焼失したが、ご本尊である最上稲荷神は八畳岩に移され難を免れた。壊滅的な被害を受けた神宮寺であったが、無事だったご本尊をもとに、新たな領主となった花房公は

熱心な法華信者であったため、池上本門寺より招かれた日円聖人は法華経の教えをもって最上稲荷神を祀り、慶長6年(1601)「稲荷山妙教寺」と名を改めて日蓮宗・法華の道場として再興し、今日の興隆の礎を築いた。

以来、仏教系稲荷神「最上位経王大菩薩」をご本尊に、八大龍王尊、三面大黒尊天、七十七末舎天王などを祀り、五穀豊穰、商売繁盛、開運などの多くの福德をそなえており、今なお多くの人々に親しまれている。

※巨福寺住職・藤沢貴文上人も正月など最上稲荷にお勤めしております。



最上位経王大菩薩 御影



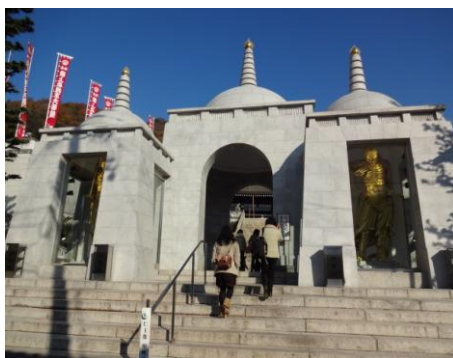
龍王山 八畳岩



最上稲荷本殿(靈光殿) 昭和54年完成



靈光殿 御祈禱の様子



仁王門 平成26年修復完成



妙教寺 根本大堂



# 巨福寺 及び 護持会 共同の寺務所 開設

昨年夏、護持会のご協力のもと、新庫裡客殿の一室を改修し、寺及び護持会の共同寺務所が完成致しました。それに伴い、本堂の隅にお祀りされていた、大黒天神さまを完成した寺務所に移転し、新たにお祀り安置致しました。



大黒天厨子 制作・奉納 名合博志

# 巨福寺 元 気 な ご 高 齢 者 の 皆 さ ん



高杉 喜美子さん

総社市延原 満102歳



小池 英子さん

高梁市本町 満99歳



田中 千恵さん

高梁市鍛冶町 満98歳



岡崎 静枝さん

総社市水内 満98歳



小倉 あぐりさん

高梁市和田 満94歳



百野 孝子さん

高梁市興万田 満93歳



森 好雄さん

高梁市荒神町 満93歳



土井 幸子さん

高梁市鍛冶町 満93歳

## 今後の行事予定

- ・1月14日(14時) お焚き上げ
- ・2月1日(14時) 節分会(福引)
- ・2月15日(14時) 釈尊涅槃会
- ・3月18~24日 春のお彼岸
- ・4月29日(10時) 花まつり
- ・5月3日(10時) 住職結婚式

☆皆さん、元気で長生きの秘訣はやはり信心と笑顔!! ☆